

《後期学校評価特集》

後期(1月)に実施しました学校評価アンケートについて、その結果と考察がまとまりましたので、本紙を通じて皆様にお知らせします。ご協力に感謝申し上げます。



令和2年2月25日 号外
銚子市立豊岡小学校



みんなが主役 豊岡小

大 楓

令和元年度 学校評価(後期)

領域	No.	評価内容	保護者評価	教職員評価	児童評価
I 思考力表現力	1	考える力や表現する力を伸ばしている。	85.2	96.9	81.3
II 家庭学習	2	家庭学習の習慣化が図られている。	75.8	90.6	80.5
III 体験活動	3	体験活動をしっかりと取り入れ、主体性を伸ばしている。	87.5	93.8	93.0
IV 読書活動	4	読書の習慣化を図るための指導が適切に行われている。	78.9	90.6	69.5
V 心の教育	5	道徳の授業の確実な実施と授業内容の工夫により、道徳的実践力が高まっている。	—	93.8	91.4
	6	友だちを思いやる心やいじめ防止への指導が適切に行われている。	85.2	96.9	96.1
VI 学校行事	7	学校行事において、自ら計画し実行する活動を取り入れることで自主性が育っている。	—	90.6	—
	8	学校行事を通して、学年を超えた交流が深まっている。	96.1	96.9	91.4
VII 地域社会との連携	9	学校だよりや学級だよりは、子どもたちの様子をわかりやすく伝えている。	86.7	93.8	—
	10	総合的な学習の時間(かえでプラン)や学校行事において、地域との連携が図られている。	92.2	90.6	—
IX 安全安心	11	学校は、子どもたちの安全確保や事故防止に積極的に取り組んでいる。	87.5	93.8	96.9
	12	学校の施設・設備は、安全面に配慮されよく整備されている。	78.9	100.0	91.4
	13	危機管理マニュアルが使いやすく整備されている。	—	81.3	—
	14	避難訓練等で「自分の命は自分で守る」という防災意識の定着に努めている。	—	93.8	96.9
	15	想定外の事態に迅速に対応する意識が徹底している。	—	93.8	—
X 校内研修	16	全職員共通認識のもとに研究が進められている。	—	93.8	—
	17	校内研修が授業の改善に生かされている。	—	93.8	—
XI 教育活動全般	18	子どもたちは、毎日、楽しく学校に来ている。	94.5	96.9	95.3
	19	子どもたちは、教師から愛情をかけられ、安心して学校生活を送っている。	93.0	100.0	91.4
	20	教職員は、一人一人の子どもを十分に理解し、一人一人に応じた支援をしている。	87.9	96.9	88.3
	21	わかる授業づくりが進められている。	85.9	90.6	92.2
	22	学校で十分に運動している。	85.2	93.8	87.5
	23	学校で、あいさつや言葉遣いなどをきちんと指導している。	89.1	93.8	86.7
	24	教職員は、保護者からの相談に丁寧に対応している。	91.4	96.9	—
	25	授業参観や学校行事は、遠慮に参加できるように配慮されている。	93.8	96.9	—
	26	学校は、PTA活動や地域の活動に協力的である。	89.8	93.8	—
	27	教職員は、信頼を損なうことのないように常に努めている。	—	100.0	—
平均			87.6	94.2	89.4

評価は、4段階評価で、全員が「A 十分」と回答した場合を評点100となるようにして算出しました。全員が「B おおむね」と回答した場合は評点75となります。
 ◇保護者の方々やお子さんが評価しづらい項目については、教員のみでの評価としたため、保護者満足度や児童満足度の欄が「—」となっています。
 ◇本校では、評点80を下回った項目について、改善が必要と判断します。より質の高い教育活動の推進を目指して、評点80を基準としました。
 ◇裏面に、「考察と今後について」を記しました。

〈裏面へ〉

《考察と今後について》

保護者・教職員・児童の三者が80を上回ったもの(11/14)					
	No.	項目	保護者	教職員	児童
①	1	思考力・表現力の向上	85.2	96.9	81.3
②	3	体験活動の充実	87.5	93.8	93.0
③	6	いじめ防止対策	85.2	96.9	96.1
④	8	学年を超えた交流	96.1	96.9	91.4
⑤	11	安全確保や事故防止	87.5	93.8	96.9
⑥	18	学校が楽しい	94.5	96.9	95.3
⑦	19	教職員の愛情	93.0	100.0	91.4
⑧	20	一人一人に応じた支援	87.9	96.9	88.3
⑨	21	わかる授業づくり	85.9	90.6	92.2
⑩	22	十分な運動	85.2	93.8	87.5
⑪	23	あいさつ・言葉遣い	89.1	93.8	86.7

教職員・児童共に80を上回り、保護者が80未満のもの(2/14)					
	No.	項目	保護者	教職員	児童
①	2	家庭学習の充実	75.8	90.6	80.5
②	12	学校の施設・設備の安全	78.9	100.0	91.4

児童調査なしの項目で、保護者・教職員が共に80を上回ったもの(5/5)					
	No.	項目	保護者	教職員	児童
①	9	たよりによる情報発信	86.7	93.8	-
②	10	地域との連携	92.2	90.6	-
③	24	保護者相談への対応	91.4	96.9	-
④	25	行事参加への配慮	93.8	96.9	-
⑤	26	P.T.Aや地域への協力	89.8	93.8	-

保護者調査なしの項目で、教職員・児童が共に80を上回ったもの(2/2)					
	No.	項目	保護者	教職員	児童
①	5	道徳科の充実	-	93.8	91.4
②	14	防災意識の向上	-	93.8	96.9

教職員が80を上回り、保護者・児童が共に80未満のもの(1/14)					
	No.	項目	保護者	教職員	児童
①	4	読書活動の充実	78.9	90.6	69.5

保護者・教職員・児童の三者が80未満のものなし(0/14)

1月に保護者の皆様にお願いました学校評価へのご協力ありがとうございました。保護者の皆様からいただいた評価や貴重なご意見をしっかりと受け止め、学校経営の改善に生かしてまいります。

保護者、教職員、児童の三者に共通の質問事項14項目のうち、三者共に80を上回った項目は前期と変わらず11項目でした。「学年を超えた交流」「学校が楽しい」「教職員の愛情」の3項目については、前期同様三者共に、90を上回りましたが、「体験活動の充実」「一人一人に応じた支援」の2項目については、前期は90を越えておりましたが、後期は越えることができずでした。いずれにしても、保護者の皆様から及第点をいただきました11項目については、現状に満足することなく、学校としてより高みを目指します。学力面、行事関係と共に、少人数を最大限に生かし、「ふるさとを愛する子」「豊かな心を持つ子」「たくましく生きる子」の育成に努めます。

次に、三者共通の項目で、一者でも80を下回る項目は3項目でした。前期の評価で三者共に80を下回った「読書活動の充実」では、後期の評価は保護者、教職員で評価は上昇したものの、児童は逆に1.6ポイント下がりました。後期は、「読書習慣を身に付けるためのブックウォーク」を実施したり、「どこでも読み聞かせ」の実施回数を増やしたりしましたが「豊岡小読書賞」の全員受賞までには至りませんでした。今後は、「朝の読書タイム」、月1回の「読み聞かせ及びじっくり読書」を教育課程に位置づけ、読書活動を充実させたいと考えます。また、「家庭学習の充実」では、後期10月、2月に家庭学習調査を実施したことで、保護者評価は3.1ポイント、児童の評価は0.8ポイントの上昇となりました。家庭学習は自主性が大切ですが、個に応じた宿題等をより充実させるなど、習慣化に向けた取組を実施してまいります。

「学校の施設・設備の安全」では、月一度の定期点検のほか、随時破損箇所等は漏らさず発見し、市教育委員会と連携し、修繕・修理により安全を維持してまいります。

保護者、教職員の二者に共通の質問事項全5項目が前期同様すべて80を超える結果を得ました。平均して前期よりポイントが下がりましたが、すべての項目が昨年度の評価を上回ることができました(平均87.2→90.8)。評価が低い「たよりによる情報発信」について、次年度は児童の学校生活、学習の姿がより皆様に伝わるよう工夫・改善し、お伝えしてまいります。

教職員調査のみ6項目結果			
	No.	項目	教職員
①	7	自主性の育成	90.6
②	13	危機管理マニュアルの整備	81.3
③	15	想定外の事態への対応	93.8
④	16	校内研究への取組	93.8
⑤	17	研修の実効性	93.8
⑥	27	不祥事根絶・綱紀粛正	100.0

教職員のみ質問事項6項目のうち、前期は3項目が80を下回っていましたが、後期はすべて80を越えました。このことは、校内研修の成果と捉えられます。授業改善・授業力の向上を目指した授業力診断表(校長作成)の活用、学校における危機管理、講師を招聘しての道徳の研究等の研修が、教員の意識改善につながったと言えます。評価の低い「危機管理マニュアルの整備」については、マニュアルを常に見直し・改訂を図りつつ、各教室にマニュアルを置いたり、対応が一目でわかるカードを作成するなど整備に努めます。